

(有)濱田工務店

料金後納
郵便

ゆうメール

はまちゃん新聞 1・2月

※ 本年も何卒よろしくお願い申し上げます。震災から一年が経ちましたが、少しずつ日常が戻ってきた所もあれば、何も変わっていないような状況の所もあり、復興にはまだまだ時間がかかりそうですね。少しでも前向きになれるようなネタを探して皆様にお知らせできる様がんばりますので、今年もお付き合いいただけますようお願い申し上げます。

1月イベント・行事

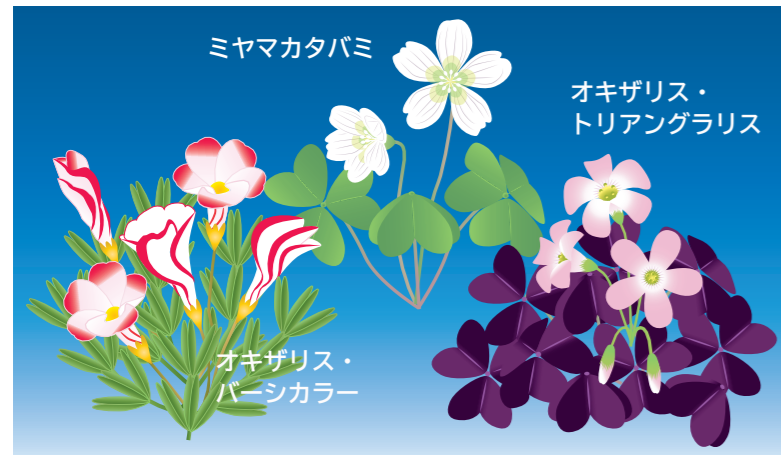
- 1/1 (水) 元日
- 1/5 (日) 小寒
- 1/7 (火) 人日の節句(七草)
- 1/13 (月) 成人の日
- 1/15 (水) 小正月
- 1/20 (月) 大寒
二十日正月
- 1/24 (金) 郵便制度施行記念日

2月イベント・行事

- 2/2 (日) 節分
- 2/3 (月) 立春
- 2/11 (火) 建国記念の日
- 2/14 (金) バレンタインデー
- 2/15 (土) 涅槃会
- 2/18 (火) 雨水
- 2/22 (土) 猫の日
- 2/23 (日) 天皇誕生日
- 2/24 (月) 振替休日

節分に豆まきをしなくてもよい名前の方はだあれ？

答えは「ワタナベさん」です。平安時代に渡辺綱(わたなべのつな)という武将が鬼を退治したことで鬼がワタナベ姓を恐れている為、ワタナベさんは豆まきをしなくてもよいとされているそう！



オキザリス

花言葉・・・輝く心・喜び・母の優しさ・決してあなたを捨てない由来・・・オキザリスはカタバミの仲間です。800～850種あり原産地は中南米やアフリカですが世界中に広く分布しています。日本へは江戸時代末期ごろに伝わってきたようで、現在の日本ではミヤマカタバミなど6種が生産するほか、7種類ほどの外来種が帰化植物となっています。花はロートや盃の様な形で、少しずつ重なった花びらが外に向かって開きパラソルのようです。花は日光に反応して開くので曇りや雨の日は閉じていて、朝明るくなると開き夕方に陽射しが陰ると閉じます。葉はクローバーのような3つ葉が多いですが、4つ葉や細い葉、多肉質の葉などさまざまに色は緑やシルバー、紫色もあります。オキザリスの中でも最も美しいとされるフヨウカタバミという名でも知られるブルブレア、閉じた花が傘に似ているパーシカラーなど沢山の品種があり微妙に育て方が違うので事前に調べておくとよいですね。



郵便制度施行記念日

明治4年(1871年)1月24日(新暦3月14日)に「郵便規則」が制定され同年3月1日から東京・大阪間で「新式郵便制度」の業務が開始されました。翌年7月1日には、北海道の一部を除いて全国で実施されるようになりました。それまでは遠くの町まで人が走って手紙を運ぶ「飛脚便」に頼っていましたが、新式郵便制度の創設者である政治家・前島密(まえじまひそか)の建議により郵便制度が定められ、郵便役所が創設されました。営業が開始された当時は東京大阪間を3日と6時間かけて郵便を届けていたそう。その後、郵便役所は全国展開されることになりましたが、当時の国家財政力では困難だったため、前島密は各地の名士や資産家などに郵便取扱役という辞令を与え土地や建物の無償提供によって、郵便取扱所を開設しました。これにより、郵便取扱所などと呼ばれた郵便局は創業の明治4年の179局から翌年には1159局に増加し、郵便制度は全国に拡大しました。



今月のレシピ

「春菊とツナ缶のごまマヨサラダ」

【材料：2人分】

- ・春菊 200g
- ・にんじん 50g
- ・ツナ缶(オイル漬け) 1缶(70g)
- ・マヨネーズ 大さじ3～4
- ・すりごま 大さじ2
- ・めんつゆ(2倍濃縮) 大さじ1
- ・砂糖 小さじ1(甘めの方は大さじ1/2)

【作り方】

- ① 春菊は3cm幅程度のざく切りにして、にんじんは細切りにする。たっぷりのお湯を沸かしさっと茹でて水にくぐらせ硬く絞る。
- ② ボウルに①とA、ツナ缶(油も全部)を加えてよく和えたら出来上がり。

お子さんや春菊が苦手な方にもおすすめです♪



四万十にお住まいの「みやちゃん」さんの素敵なお料理ブログからレシピをご紹介します。四万十住人の簡単料理ブログ <http://shimanto-miyachan.blog.jp/>

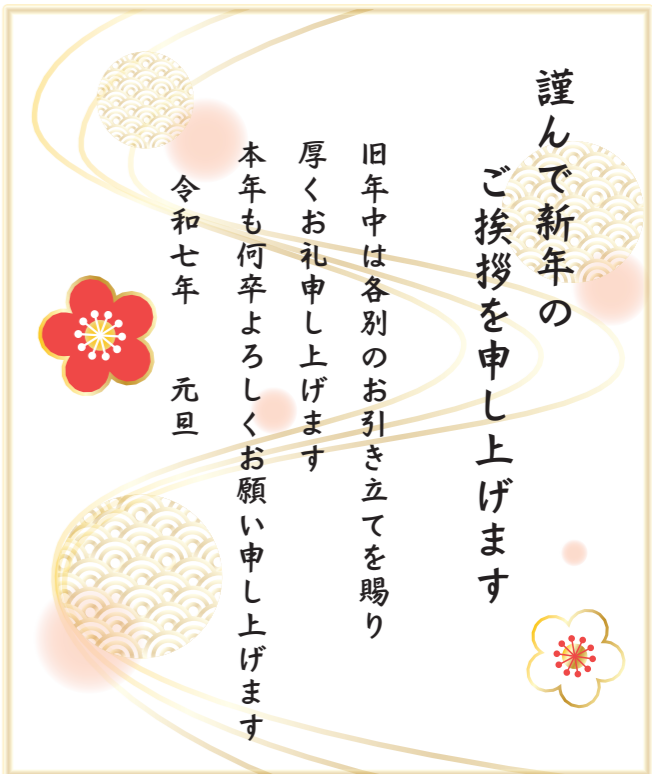
2025年1月 建築吉日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1 先勝 元日	2 友引	3 先負 建築吉日(なる)	4 仏滅
5 大安 小寒	6 赤口 建築吉日(ひらく)	7 先勝 人日の節句(七草)	8 友引 建築吉日(たつ)	9 先負	10 仏滅 建築吉日(みつ)	11 大安 建築吉日(たいら)
12 赤口 建築吉日(さだん)	13 先勝 成人の日	14 友引	15 先負 小正月	16 仏滅 建築吉日(なる)	17 大安	18 赤口 建築吉日(ひらく)
19 先勝	20 友引 大寒 二十日正月 建築吉日(たつ)	21 先負	22 仏滅 建築吉日(みつ)	23 大安 建築吉日(たいら)	24 赤口 郵便制度施行記念日 建築吉日(さだん)	25 先勝
26 友引	27 先負	28 仏滅 建築吉日(なる)	29 先勝	30 友引 建築吉日(ひらく)	31 先負	

2025年2月 建築吉日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1 仏滅 建築吉日(たつ)
2 節分 大安	3 立春 赤口	4 先勝 建築吉日(みつ)	5 友引 建築吉日(たいら)	6 先負 建築吉日(さだん)	7 仏滅	8 大安
9 赤口	10 先勝 建築吉日(なる)	11 友引 建国記念の日	12 先負 建築吉日(ひらく)	13 仏滅	14 大安 バレンタインデー 建築吉日(たつ)	15 赤口 涅槃会
16 先勝	17 友引 建築吉日(たいら)	18 先負 雨水 建築吉日(さだん)	19 仏滅	20 大安	21 赤口	22 先勝 猫の日 建築吉日(なる)
23 友引 天皇誕生日	24 先負 振替休日	25 仏滅	26 大安 建築吉日(たつ)	27 赤口	28 友引 建築吉日(みつ)	

※祝日は法律の改正により変更になる場合があります



地鎮祭や上棟式、お引越しのスケジュール立てに参考までに活用下さい。

『たつ』 開店、移転、柱立て、棟上げ、新規事の開始など、すべてに大吉。

『みつ』 建築、移転、開店、祝い事、すべて吉。

『さだん』 建築、移転、開店、新規事の開始などすべて吉。

『なる』 新規事の開始は吉。

『ひらく』 建築、移転、開店、すべて吉。



おみくじ

おみくじの起源・由来

南北朝時代から室町時代に当時の中国から入ってきた「天竺靈籤（てんじくれいせん）」という中国の古い籤（くじ）をベースに、平安時代に活躍した天台宗の僧侶である元三大師（がんだいし）※が日本のおみくじの基となる「元三大師百選籤（がんだいしひやくせん）」を作りました。元三大師百籤は多くのお寺で一般的に使われるようになり、戦国時代には武士たちが戦の勝敗を占うために神社で神籤（かみくじ）を引いたと言われていて、江戸時代までは武士や僧侶が読むものだったことから彼らが日常的に利用していた漢文で書かれていたそうです。江戸時代になると、寺社参りが庶民の娯楽の一つとして定着し、おみくじも身近なものになっていきます。そして明治時代に入り、慶応4年（1868年）3月13日に新政府が「神仏分離令」を出したことで、神社では仏教を起源としたおみくじを使えなくなってしまいました。そのため神社では、おみくじに使われていた漢文を和歌に変えてお寺のおみくじと区別をつけるようになりました。お寺のおみくじと比べ、神社のおみくじのほうが分かりやすく感じることはあるのは、神社のおみくじが明治時代に新しく作り直されているからかもしれません。

※元三大師：名前は良源（りょうげん）。正月の一月三日の命日にちなんで元三大師（がんだいし）と呼ばれ、後に一条天皇より「慈恵」の諡号（しごう：死後に生前の功績を讃え贈られる称号）を賜り慈恵大師（じえだいし）とも呼ばれる。

おみくじはどこで作られている？

おみくじを作っている会社は数社ありますが、7割近くが山口県の二所山田神社の「女子道社」で作られています。女子道社を作った二所山田神社の宮本重胤（みやもとしげたね）宮司は男尊女卑の風潮が強く残っていた明治時代に、女性が神や仏に奉仕する職に就くことはタブーとされた中で女性神主の登用や参政権など女性の自立を求め「日本敬神婦人会」を設立しました。日本敬神婦人会は日本全国に支部を広げ、明治49年（1907年）には、女性解放運動を推進する機関紙「女子道」を発行。その資金を捻出するため設立されたのが、おみくじの製造・販売を行なう「女子道社」で、日本で初めておみくじの自動販売機を開発したり、神前結婚式を普及させたのも女子道社なのだそう。

おみくじはどうやって作られている？

女子道社が製造・販売するおみくじは昔から変わらず地域の女性の手作りです。年末年始近くなる繁忙期には、約100名ほどの主婦の皆さんが交代で製作しています。ベテランになると一日6,000～7,000枚ものおみくじを折れるそうですが、折り目の位置や切り方などキレイに仕上げるのはとても難しそうです。現在、女子道社で主に製造されているおみくじは18種類で、一般的な物からイベント用、観光客向けのもの、寺院用のおみくじも作られています。普段何気なくおみくじを引いていましたが、女子道社で作られたものの可能性が高いこと、いろいろな歴史があったことを知ると興味深く感じられますね。

おみくじの種類

おみくじの一般的な種類は7種類で、順番は「大吉」「吉」「中吉」「小吉」「末吉」「凶」「大凶」ですが、「吉」の順番が違っていたり、神社によっては「半吉」「半凶」などを含む12種類や「大大吉」「吉凶相半」など17種類もあるおみくじもあるそう。その他にも、埼玉県の氷川神社、長野県の戸隠神社、京都府の下鴨神社、広島県の厳島神社などでは「平」という種類があるそうで、順番としては吉と凶の間の位置で、目立った良し悪しがなく運気が安定していることを表わしているそうです。意味合い的には「普通」ですが、「平」を入れている神社が少なく、出る確率もかなり低いようなのでもし引いたら貴重ですね。珍しいおみくじがある一方で、伊勢神宮には昔からおみくじはありません。その理由は、「一生に一度」と憧れたお伊勢参りが大吉でないわけがない。との考えから、おみくじを引く必要がなかったと考えられています。

季節の野菜：春菊

冬が旬の春菊。名前の由来は春に菊のような花を咲かせることから。春菊はヨーロッパ地域ではあまり好まれていませんが、日本や中国、インドといったアジアの国では古くから親しまれています。日本には室町時代に伝わり、江戸時代には広く栽培されていたそうです。春菊といえば独特な香りが特徴ですが、この香りはα-ピネンやベリルアルデヒドという成分によるものです。これらには胃腸の調子を整える効果があり、食欲増進や消化促進などの効果が期待できると言われています。また、春菊には多くの栄養素が含まれていて、特に多いのは①βカロテン（皮膚や粘膜の健康維持）②ビタミン（免疫力を高めるビタミンC、カルシウムの吸収を促進して骨粗しょう症を予防するビタミンK）③葉酸・鉄（貧血予防）の3つです。春菊の栄養を上手にとるコツは油と一緒に食べる（βカロテンは油に溶けて吸収しやすい）、スープにして汁ごと食べる（加熱して流れでた栄養素も摂取出来る）です。体調を崩しやすい季節にぴったりの食材ですね！



二十四節気
七十二候

小寒

1月5日頃



小寒（しょうかん）とは、「寒の入り」といわれ、これから更に寒さが厳しくなるころ。小寒から節分までの三十日間のことを「寒の内」といいます。寒が明けると立春になります。

芹乃栄 セリすなわちさかう 1/5～1/9頃
芹が生え始める頃。芹は春の七草のひとつで、冷たい水辺で育ちます。一箇所から競り合って生えていることから、芹（セリ）という名前になりました。
水泉動 しみずあたたかをふくむ 1/10～1/14頃
地中で凍った泉の水が溶け、動き始める頃。まだまだ空気は冷たく、寒い時期ですが、春に向けて少しずつ動き出しています。

雉始雉 きじはじめてなく 1/15～1/19頃
雉が鳴き始める頃。雄が雌への求愛のしるしとして「ケンケン」と甲高い声で鳴きます。足の裏で震動を敏感に察知することができ、数秒早く地震を知らせることができます。

立春

2月3日頃



旧暦では、1年のはじまりは立春からと考えられていた為、節分や八十八夜など季節の節目の行事は立春を起点として定められています。梅の花が咲き始め、春の兆しが所々で見られます。

東風解凍 はるかぜこおりをとく 2/3～2/7頃
暖かい春の風が冬の間張りつめていた氷を解かし始める頃。いよいよ春の暖かい足音が聞こえ始めてきました。
黄鶯睨眼 うぐいすなく 2/8～2/12頃
「ホーホケキョ」とウグイスが馴染みのある美しい鳴き声で、春の到来を告げる頃。その年の一番初めに聞くウグイスの声を「初音（はつね）」といいます。
魚上氷 うおこおりをいずる 2/13～2/17頃
春の暖かさで湖や川の氷が割れ、氷下で泳いでいた魚が氷の上に跳ね上がる頃。温くなった水の中にゆらゆら泳ぐ魚の姿がよく見え始めます。

二十四節気
七十二候

大寒

1月20日頃



大寒（だいかん）とは、一年で一番寒さが厳しくなる頃。「三寒四温」という言葉のように、寒い日が三日続くとその後の四日間は暖かくなり寒い中にも少しだけ春の気配を感じられます。

欸冬華 ふきのはなさく 1/20～1/24頃
凍てついた地面に蔭の花が咲き始める頃。地面には雪が積り強い寒さが襲ってくる時期ですが、草花は春に向けて着実に動き出しています。
水沢腹堅 さわみずこおりつめる 1/25～1/29頃
沢の水が氷となり、厚く張りつめる頃。この時期に一年での最低気温の記録がでることが多く、氷点下に達する地域も多く見られます。
雞始乳 にわとりはじめてとやにつく 1/30～2/2頃
鶏が春の気を感じ、たまごを産み始める頃。自然な状態の鶏は日照時間が長くなるにつれ、産卵率が上がっていくため、春から夏にかけてたくさん卵を産みます。

雨水

2月18日頃



雨水（うすい）とは、降る雪が雨へと変わり雪解けが始まる頃のこと。山に積もった雪もゆっくりと解け出し、田畑を潤します。昔から雨水は農耕を始める時期の目安とされてきました。

土脉潤起 つちのしょううるおいおこる 2/18～2/22頃
冷たい雪が暖かい春の雨に代わり、大地に潤いをあたえる頃。寒さもゆるみ、眠っていた動物も目覚めます。
霞始靄 かすみはじめてたなびく 2/23～2/27頃
霧やもやの為、遠くの山や景色がほのかに現れては消え、山野の情景に趣が加わる頃。春に出る霧を霞（かすみ）と呼び、夜の霞は朧（おぼろ）と呼ばれます。
草木萌動 そうもくめばえいずる 2/28～3/4頃
足もとや庭木の先にほんのりと薄緑に色づく芽が見られる頃。やわらかい春の日差しの中、草木が芽吹き、新しい命が生まれます。

住宅建築 きめ知識

今回のテーマは

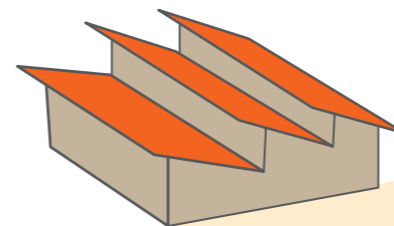
屋根の形 鋸（のこぎり）屋根



今回のテーマは
M型屋根です。

屋根の形には色々な種類があります。外観のイメージに合わせて選ぶことも大事ですが、メンテナンスの手間や太陽光発電システムの設置、落雪対策なども考えて最適な形を選びます。今号からは、それぞれの特徴やメリット・デメリットをお伝えします。

鋸（のこぎり）屋根



片流れの建物を連結させたような形状で、のこぎりの刃のような形をしています。

特徴

イギリスの産業革命期に織物工場や染色工場の建物などに用いられた屋根構造で、歯型の垂直部分で採光できるため大きな工場で採用された。

メリット

高い位置から日光を取り入れることで建物の隅まで自然光が届きやすくなり照明の使用を減らすことができる。また、ほとんどの場合、採光窓は北側に設置され直射日光の差し込みを抑えて一日中安定した明るさを保つことができる。一般住宅では見られない個性的な外観にできる。

デメリット

外壁の垂直部分と屋根の接合箇所にも雨水や雪が溜まりやすくなり、雨漏りのリスクがある。耐久性の高い屋根材を選ぶことが重要で、防水工事や定期的なメンテナンスも必要。

編集後記



ami 2025年になったと思ったらあっという間に2月も終わろうとしています・・・。新聞作製になかなか時間が取れなくて大変遅くなってしまいました。申し訳ありません(>_<) 来月号からは、ホームページに載せている新築やリフォーム（載ってないのもあり）などの内容なども掲載していきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします<(_<)>

